



タブレットの持ち帰りについて

2学期もおよそひと月が過ぎ、通常通りの学校生活が軌道に乗ってきました。保護者の皆様には、生活リズムの確立に気を配っていただきありがとうございます。さて、タブレットについて、これまで本校は、充電してくることを主な目的として週末に持ち帰っていました。これを3年生以上の児童については、10月からは下記のように変更します。



- ・タブレットを毎日、持ち帰ります。
- ・これまで翌日の予定は連絡帳で確認していましたが、タブレット上のクラスルームで確認することにします。

グローバル化、人口減少・少子高齢化、デジタル化など、変化の激しい不確実な時代を生きる子どもたちにとって、ICT・クラウドを日常的に使いこなす力をつけることは必須となってきます。ICTを活用できる者と活用しない者とのスキルの格差が、将来の経済的な格差の拡大につながってしまってははいけません。

こうした時代背景をもとに、学校での学びと家庭での学びをつなげることをめざして、本校では上記のようにタブレットを毎日持ち帰ることにします。同時に、ランドセルが重くなりすぎることのないよう、国語・算数の教科書以外は、学校に置いておくという配慮も行います（ただし、1・2年生については、週末に持ち帰って充電してくるといったこれまで通りの対応を継続します）。学校では毎日タブレットを使いますので、家庭で充電をして、登校するときにはランドセルの中にタブレットを入れ忘れないようにしてください。保護者の皆様には、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

タブレットには、様々なアプリが入っています。ミライシード(ドリルパーク)では、70000問の中から各自の習熟度に合わせた問題に取り組むことができます。チュースクでは、新聞社が子ども向けの新聞記事を配信してくれています。よっかいち電子図書館では、全国有数の蔵書の中からいつでも好きな本を借りて読むことができます。そのほか、プログラミングを学べたり、タイピングを練習出来たり、仕事について学べたりといった子どもたちの興味を引き出すものがたくさんあります。週末などゆっくり時間があるときに、お子さんと一緒にタブレットを覗いてみて、どんなものがあるか実際に見ていただければいかがでしょうか。

よい学び方を身に付けるためには、子どもたちが自己決定、自己調整できる学び方をすることが大切だと言われています。タブレットを毎日持ち帰ることはその一助になると考えています。3年生以上は、自主学習ノートを持って自主学習に取り組んでいますので、ドリルパーク等に取り組んだ場合は、ドリルに取り組んだ範囲や時間を自主学習ノートに記録してもらおうとよろしいかと思えます。保護者の方にも、決められた宿題が終わった後に、「次は自主学習に取り組んだらどう？」と声をかけていただけると、子どもたちのやる気につながると思っていますので、よろしくお願いいたします。

11月27日(水)の日課について

再来月のこととなりますが、11月27日(水)午後は、中学校区の教職員が集まっての授業公開研究会を、本校を会場にして行います。この日は5限目を13:45~14:30に設定しますので、下校時刻が14:40となります。通常時と違って下校が25分ほど遅くなりますので、早めに周知をと思い今回のお知らせとなりました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。